



# 栃木県公共事業再評価 概要書

## 【県土整備部 街路事業】

事業名	街路づくり事業
事業箇所	宇都宮都市計画道路 3・3・901号おもちゃのまち <small>しもこやま</small> 下古山線 壬生町安塚 <small>やすずか</small> ～壬生町壬生丁 <small>みぶてい</small> おもちゃのまち工区 L=1,182m
事業主体	栃木県
事業担当課	県土整備部 都市整備課

# 事業の概要

## 【目的】

本都市計画道路は、県道宇都宮亀和田栃木線から新4号国道を結ぶ県道羽生田上蒲生線の一部であり、都市の骨格を形成する道路である。沿線には、北関東自動車道壬生IC、おもちゃ団地等が立地しており、都市間連携や地域産業活動を支えるとともに、第2次緊急輸送道路及び重要物流道路に指定されている。

しかしながら、本路線は付加車線が未整備であることから渋滞が発生しており、沿線では（仮称）下野SICの整備や土地区画整理事業が進められていることなど、今後交通需要の増加が見込まれ、更なる渋滞の悪化が予想される。さらに、防災上重要な路線であるが、電柱が林立しており、災害時において避難路や輸送路として機能しない可能性がある。加えて近隣の小中学校の通学路であることから、歩行者・自転車の安全な通行空間の確保が求められている。

このため、本事業は現道を拡幅し、歩道及び自転車通行帯と交差点に右折車線を設置することで安全で円滑な通行を確保し、併せて電線類の地中化を図ることで都市防災機能を強化するとともに、土地区画整理事業と連携して良好な街なみ空間の創出を図るものである。

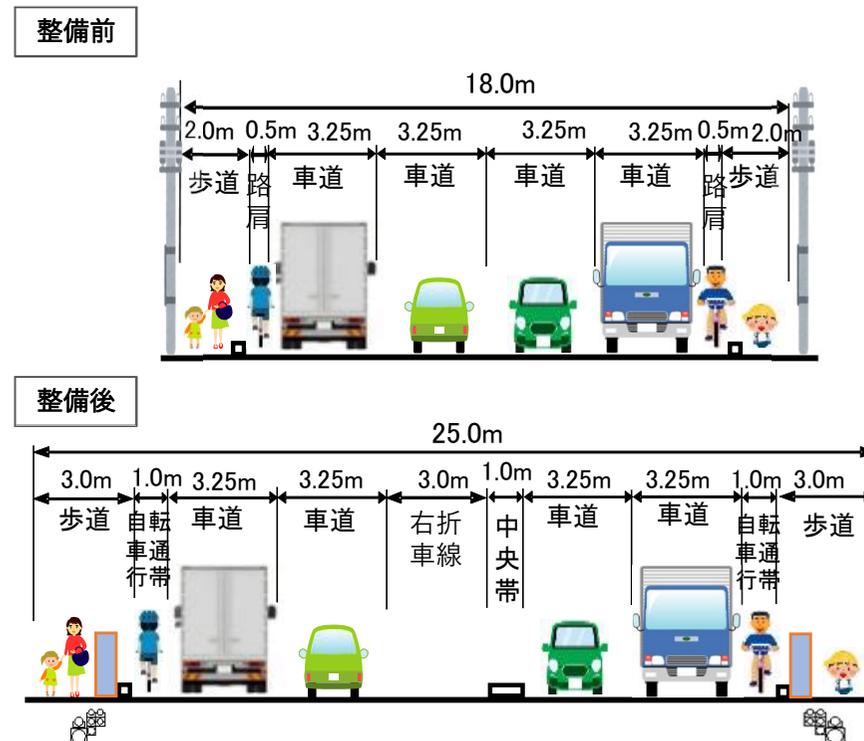
## 【事業概要図】



## 【現況】

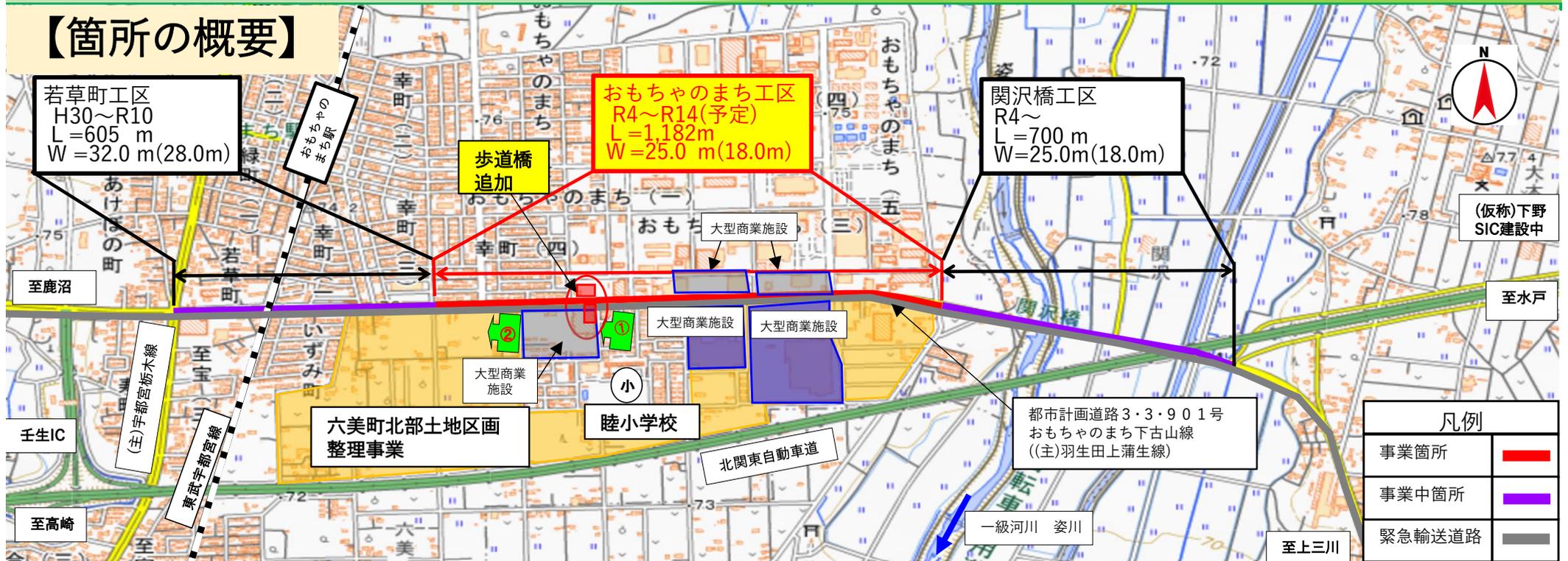
目標事業期間 (変更前)	令和4年度～令和14年度 (令和4年度～令和10年度)
事業経過	令和4年度 事業化 令和4年度 用地着手 令和8年度 工事着手
全体事業費 [うち用地補償費]	42.7 (27.0) 億円 [ 17.0 (10.0) 億円] ※ ( ) は前回計画時
事業延長 [うち整備済延長]	L = 1,182m [L = 0m]
進捗率	基準年次：【令和7年度末時点】 費用 進捗率 既投資事業費 7.2億円 17% [うち用地補償費 5.0億円 30%]

## 【標準横断図】



# 事業の概要

## 【箇所の概要】



## II 事業の評価

### 【今後の事業進捗の見込み】

- ・ 事業期間の見直し  
令和10年度 ⇒ 令和14年度
- ・ 総事業費の見直し  
27.0億円 ⇒ 42.7億円

### 【全体事業費の見直し】

前回計画  
(R 3年度)

今回計画

		前回計画 (R 3年度)	今回計画
	事業費	27.0億円	⇒ 42.7億円 (+ 15.7億円)
内	工事費	17.0億円	⇒ 25.7億円 (+ 8.7億円)
訳	用地補償費	10.0億円	⇒ 17.0億円 (+ 7.0億円)

### 【事業の投資効果】

#### 1 費用対効果分析結果

	B/C	総便益(B)	総費用(C)
(1)事業全体	電共、交安事業のため対象外		
(2)残事業			

#### 2 事業の整備効果等

- ・ 高速道路ICや産業団地へのアクセス向上及び付加車線の設置による渋滞の緩和
- ・ 歩行者・自転車の安全な通行空間の確保と、無電柱化による都市防災機能の強化
- ・ 土地区画整理事業と連携した良好な街並み空間の創出

# II 事業の評価

## 【事業の進捗状況等】

※令和7年度末時点

### 1 事業の進捗状況

- 全体事業進捗率 17%
- 用地 30%
- 工事 0%

### 2 今後の事業進捗の見込み

- 用地取得、工事を推進し、令和14年度を目標に事業完了を図る。

整備前：既設歩道橋の利用状況



整備前：渋滞状況（壬生IC方面を望む）



## 【コスト縮減等】

### 1 コスト縮減方策

- 再生材の利用や建設発生土の公共工事間流用に努め、コスト縮減を図る。
- 無電柱化の低コスト手法の活用によるコスト縮減を図る。

### 2 代替案立案等の可能性

- 30%の用地補償を実施済みであること、土地区画整理事業と連携して整備していることから、引き続き現計画で事業を継続することが妥当と考える。

## 【事業の対応方針（案）】

- 本計画で事業を継続する。